

請求書 (第 回部分払)

¥

ただし、(工事名)の既済部分に対する契約書第38条第1項にもとづく請求額

契約書記載の工事名を記入すること。

- 1 請負代金額 ¥ 最終変更の金額を記入
- 1 前払金受領済額 ¥ 数回あるときは合計額を記入
- 1 既済部分受領済額 ¥ 数回あるときは合計額を記入
- 1 指定部分受領済額 ¥ 指定部分払請求により受領した額を記入
- 1 今回迄出来高金額 ¥ 検査員が確認した出来高金額

受領済が無い場合は該当しない文字及び該当しない欄を抹消する。

なお、今回の請求に係るインボイス記載事項は次のとおり

- 1 出来高金額 ¥ 検査員が確認した出来高金額 ※消費税10%対象 (うち取引に係る消費税及び地方消費税の額 ¥ -)
- 1 出来高金額 ¥ 検査員が確認した出来高金額 ※消費税8%対象 (うち取引に係る消費税及び地方消費税の額 ¥ -)

該当が無い場合は該当しない文字及び該当しない欄を抹消する。

ただし、(工事名)今回迄出来高金額から既に部分払の対象となった請負代金相当額、部分引渡しに係る請負代金を控除した残額

上記のとおり請求します。

契約書記載の工事名を記入すること。

令和 〇〇年 〇〇月 〇〇日

日本下水道事業団

契約職 〇〇〇〇 氏 名 殿

受注者氏名欄:
契約書の会社名又はJV名と代表会社名
代表取締役 氏名
(契約書の受注者の社名と氏名を記載する。
代理人を立てるときは契約課書類を整合)

受注者

住所

氏名

(会社名)
(氏名) 印
(登録番号)

適格請求書発行事業者登録番号を記入(建設共同企業体の場合は、代表会社の登録番号)

振込銀行名	〇〇銀行 △△支店
預金の種目	
口座番号	
(フリガナ) 口座名	

振込不能となる場合があるため、フリガナは必ず記入すること。

支店名まで明記する事

JVのときは、建設共同企業体協定書第11条により設定された別口預金口座(代表会社の単独口座は不可)。JV以外の場合は当座預金でもよい。

- (注)
- 1 用紙の大きさは、日本産業規格A4判とする。
 - 2 不必要な金額欄は抹消すること。
 - 3 「請負代金額」の欄には、請求日現在の請負代金額を記入すること。
 - 4 「指定部分受領済額」の欄には、指定部分払請求により受領した額を記入すること。
 - 5 今回迄出来高金額及び出来高金額は、検査員が確認した出来高を記入すること。
 - 6 代理受領の場合は、受注者住所、氏名の下に「代理受領者住所、氏名」を明記し、振込銀行名、預金の種目、口座番号を記入すること。
 - 7 受注者が建設共同企業体の場合、建設共同企業体協定書第11条の規定により設定された口座を記入すること。
 - 8 受注者は、代表者又は代表者から委任を受けている者とする。